

玉川教会たより

日本基督教団玉川教会
町田市玉川学園 4-5-32
電話 042-792-9821

「準備の季節」

「あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである」

(ルカによる福音書 12章 40節)

10月を過ぎた辺りから少しずつ涼しさを感じるようになってきましたが、この季節は色々と変化する季節でもあります。10月になると私たちの生活で衣替えをするのと同じように、自然に置いても葉が赤や茶色に変わり、目に季節の移り変わりが表され、そこに神さまの創られる自然の美しさを見ることになります。

これまで足かけ12年いた北国では10月の下旬になると冬に向けた準備をしなければいけませんでした。それは雪囲いであったり、除雪道具の点検であったり、何よりも車のタイヤの交換がありました。そこには明日天気が変わってしまうかも知れないから、と言う一種の「怯え」のようなものがあつたように思います。実際に、ほんの一日の遅れが生け垣をダメにしてしまったり、雪掻きが出来ずに途方に暮れてしまうという大惨事につながってしまうことがありました。

しかし、聖書の語る本当の意味での「準備」とは何かと言えば、明日、いやこの後すぐに来て良い「喜び」をしっかりと味わうことが出来るようになされるものです。

「状況が変わり大惨事を招いてしまうかわからないから」でも、「その時になって途方に暮れてしまうことがないように」でもないのです。その「喜び」をしっかりと「喜び」として受け入れることが出来るように、わたしたちには「喜び」を待ち望みつつ「備え」をすることが求められているのです。

秋は「伝道の季節」と言われることがありますが、それはだいたい秋にかけて「特別伝道集会」が行われたり、パザーが行われたりして、教会外の方々に教会をアピールすることが多いということではありますが、本来、伝道とはどこかの季節に限って強調するものではなく、一年中365日、毎日24時間いつでも心に覚えるものであるはずで

もちろん、年がら年中人にアピールをするということではありません。伝道の基礎になるのは、礼拝をすることです。そして祈ることです。伝道は礼拝から始まり礼拝に戻る。祈りに始まり祈りを続けていくものであるのです。

「あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである」というこの御言葉は、どんな時にも私たちが礼拝する者であることが出来るように、祈る者であることが出来るように「用意していなさい」と語りかけているのです。

この季節の先には、神さまの独り子イエス様の御降誕の季節、アドヴェント、そしてクリスマスと続いていきます。神さまの喜びの出来事が待っていることを心から信じ、待ち望みつつ、良き「備え」をする一人一人となっていきたいと思うのです。